

2010年3月期 第2四半期累計期間

決算概要ご説明資料

Verificati

2009年10月30日

Service

株式会社ベリサーブ

財務ハイライト

(単位：百万円)

	2009年3月期 前第2四半期累計期間	2010年3月期 当第2四半期累計期間	対前年同期比 増減	対前年同期比 増減率
売上高	3,986	2,450	▲1,535	▲38.5%
売上原価	2,837	1,791	▲1,046	▲36.9%
売上総利益	1,149	659	▲489	▲42.6%
利益率	28.8%	26.9%	▲1.9 pt	
販売費及び一般管理費	863	701	▲161	▲18.7%
販管費比率	21.7%	28.6%	6.9 Pt	
営業利益	285	▲42	▲327	—
利益率	7.2%	▲1.7%	▲8.9 pt	
経常利益	292	▲33	▲325	—
利益率	7.3%	▲1.4%	▲8.7 pt	
四半期(当期)純利益	150	▲35	▲185	—
利益率	3.8%	▲1.5%	▲5.3pt	

第2四半期累計期間におけるポイント

■売上高 **2,450**百万円（対前年同期比 38.5%減）

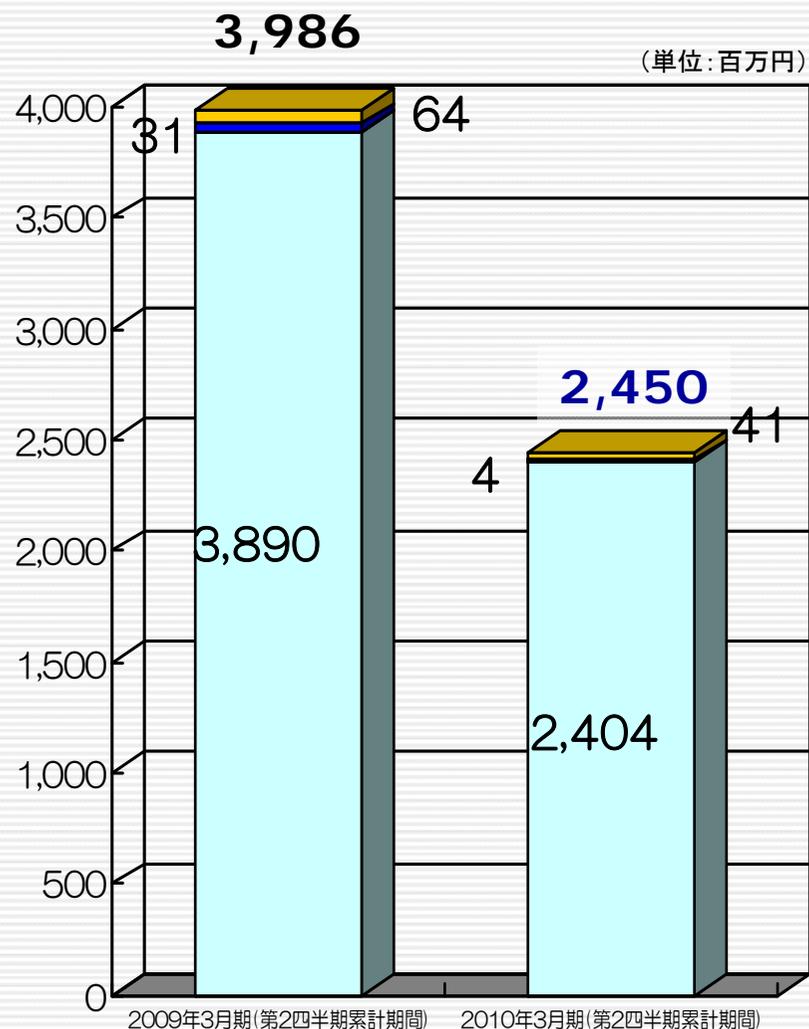
- 主力検証対象製品分野(AV機器、ITS、携帯電話)で景気後退の影響を受け、売上高が減少（特にITS関連の影響が大きい）

■経常利益 **▲33**百万円

- 新入社員61名の入社に伴う人件費の増加が主たる要因→ 早期戦力化を図る
- 販管費の低減に努める
 - >次期の採用要員数の見直しによる、募集費の低減
 - >イベント関係の見直しによる、販促費、広告宣伝費の見直し

■四半期純利益 **▲35**百万円

第2四半期累計期間 部門別売上高(前年同期比)

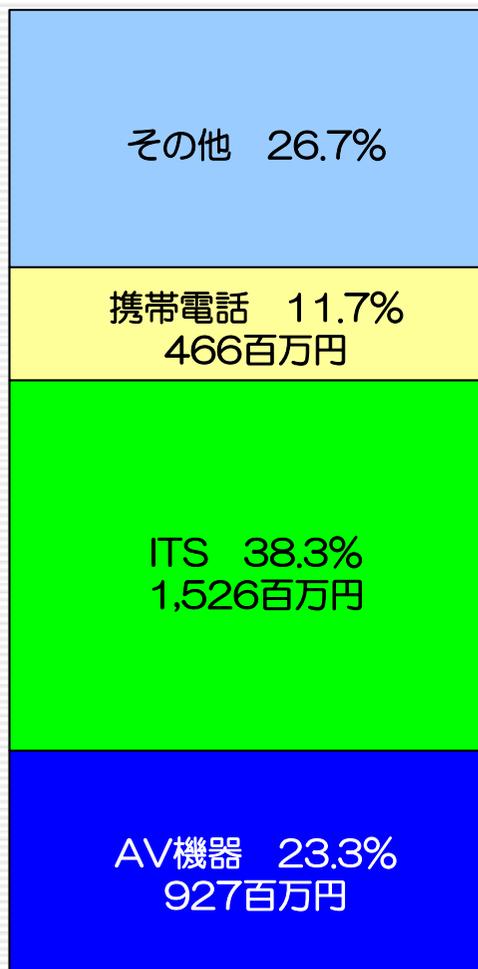


(単位:百万円)

	前第2四半期 累計期間 (2008年9月)	当第2四半期 累計期間 (2009年9月)	増減
開発支援検証 サービス	3,823	2,349	▲1,474
認定支援サービス	28	17	▲11
検証情報サービス	38	38	-
製品検証サービス	3,890	2,404	▲1,486
セキュリティ 検証サービス	31	4	▲27
その他検証サービス	64	41	▲23
合計	3,986	2,450	▲1,536

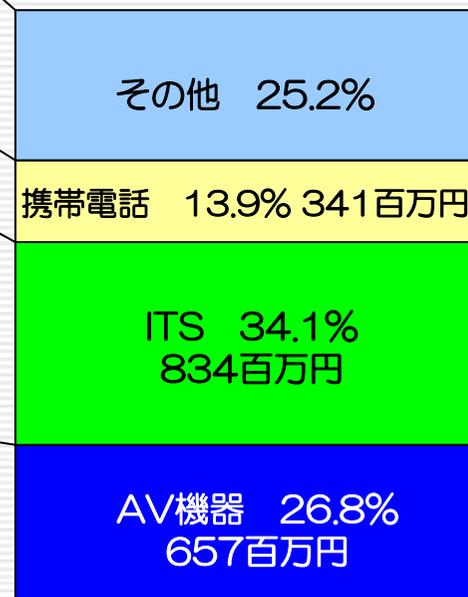
サービス対象製品別売上 (対前年同期比)

39.8 億円



2009年3月期 第2四半期累計期間

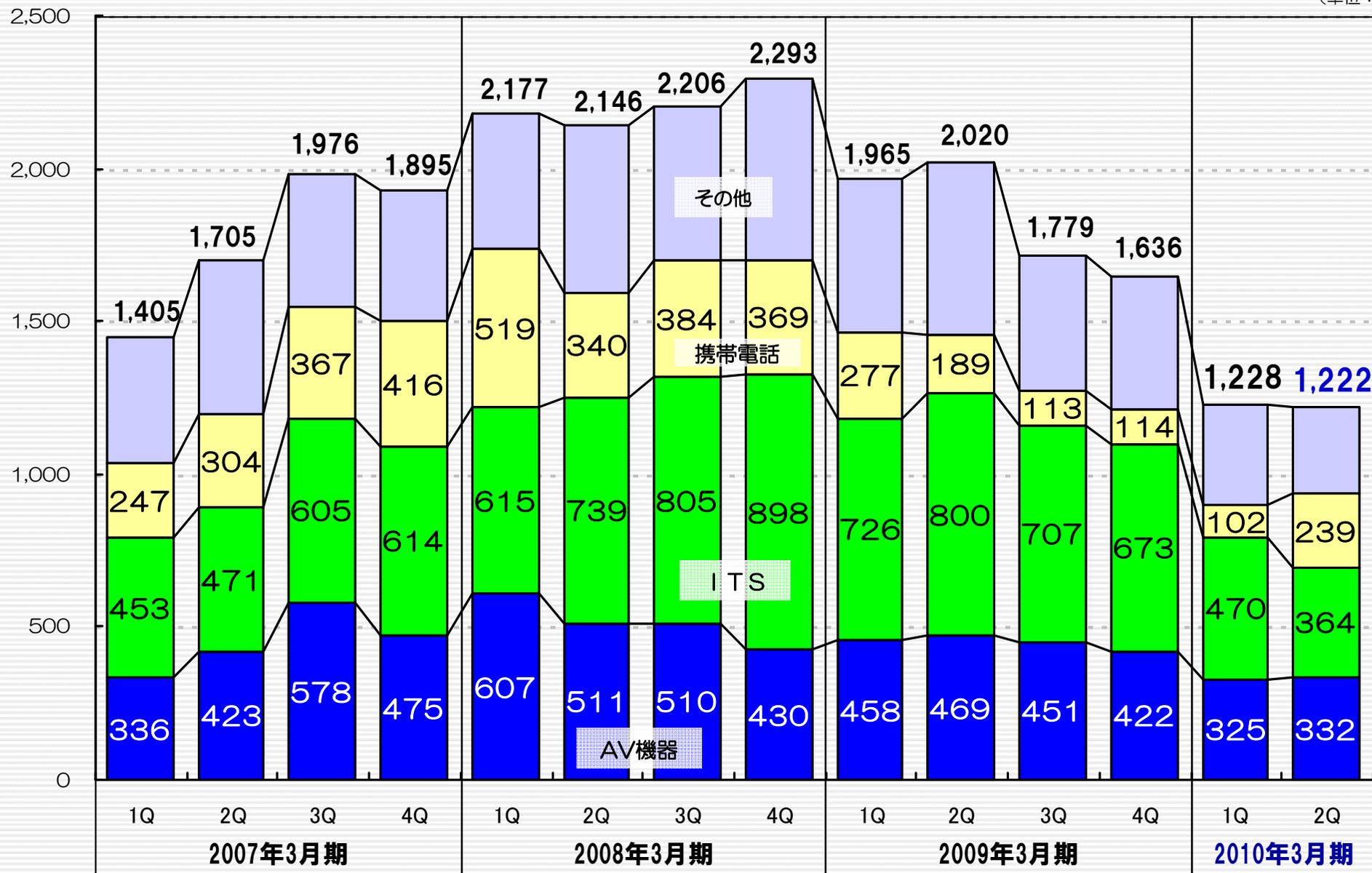
24.5 億円



2010年3月期 第2四半期累計期間

サービス対象製品別売上高 (四半期会計期間別)

(単位：百万円)



■ AV機器

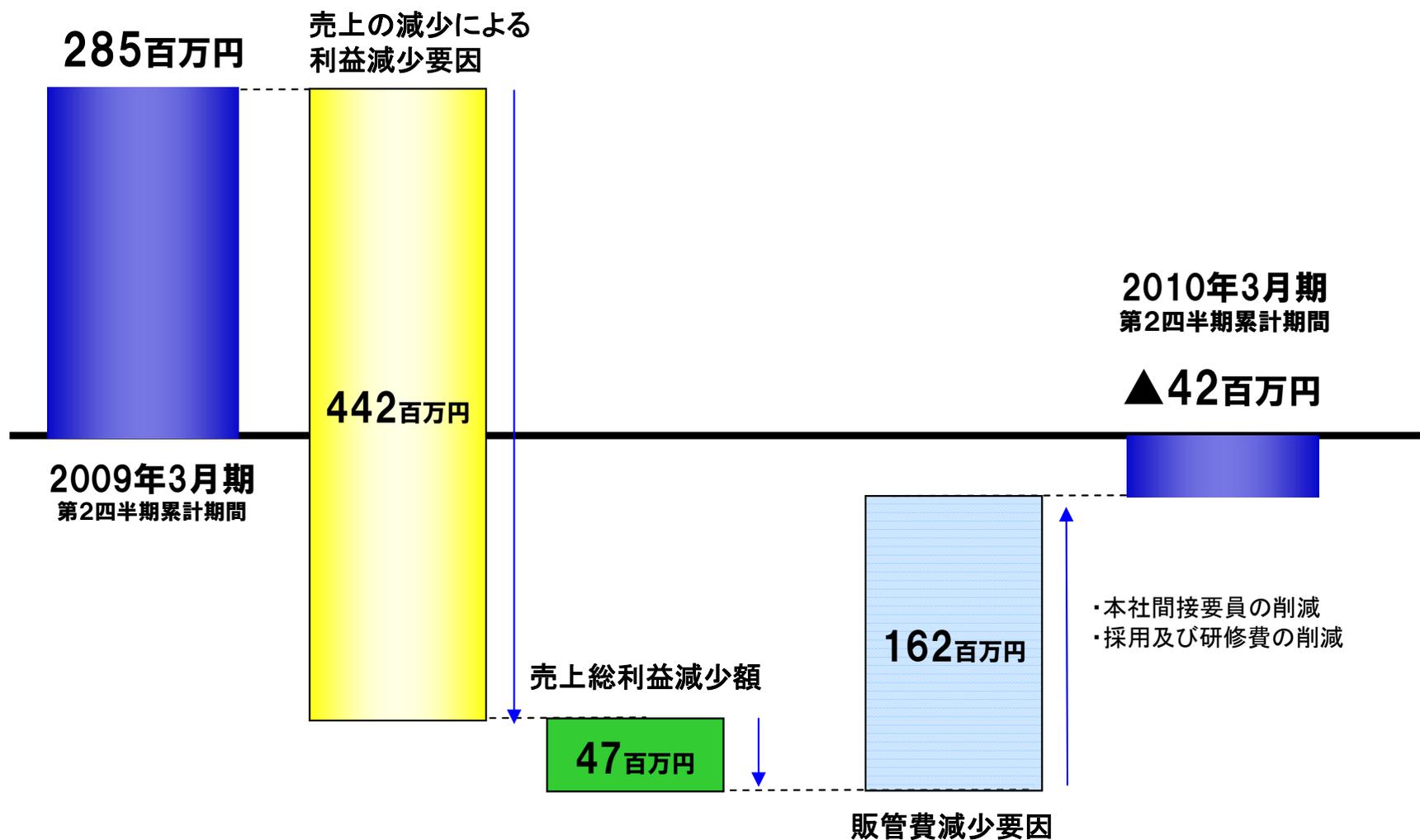
■ ITS

■ 携帯電話

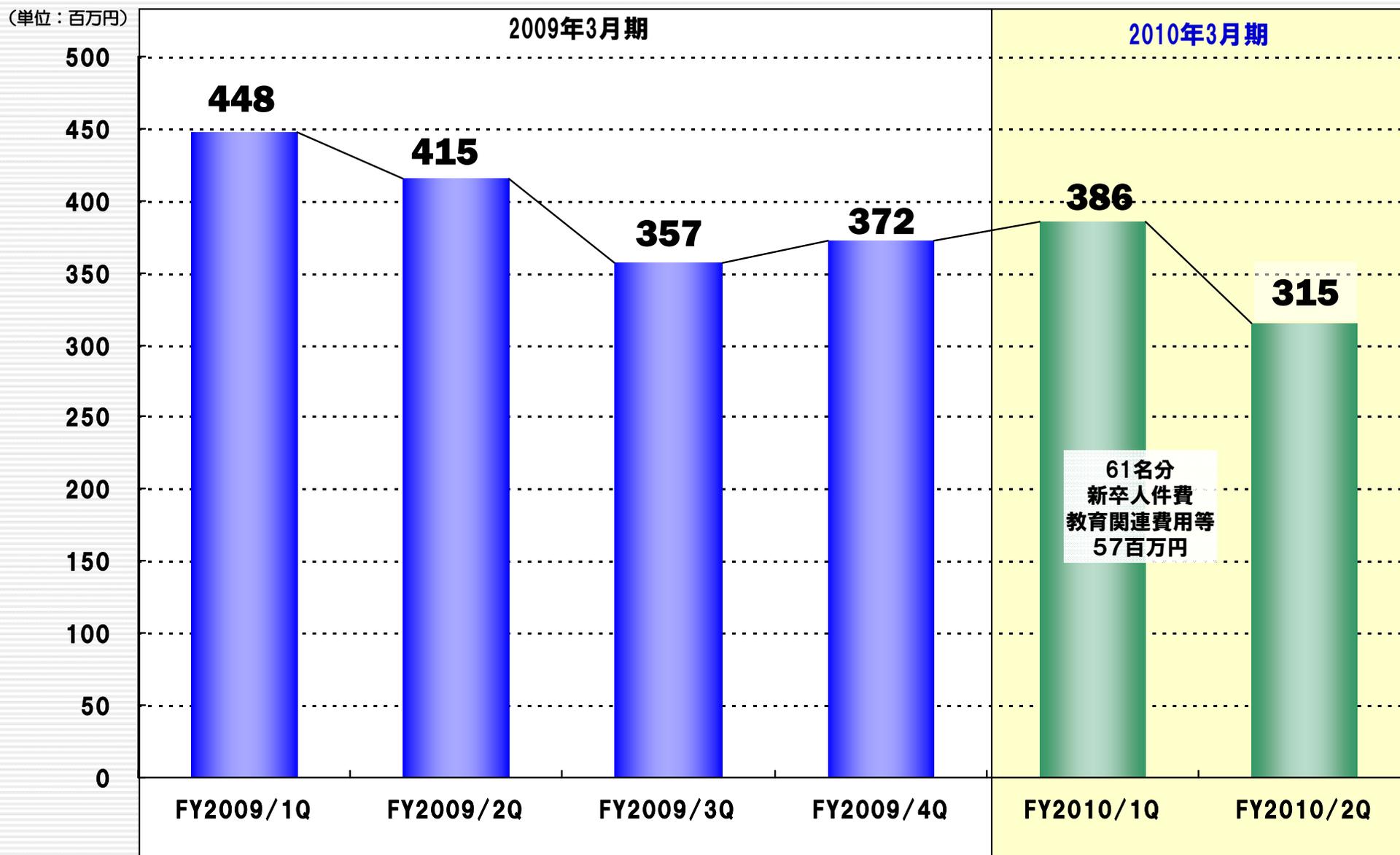
□ その他

営業利益比較(対前年同期比)

(単位: 百万円)



販売費及び一般管理費の推移（四半期会計期間別）



貸借対照表(サマリー)

(単位：百万円)

	前事業年度末 (2009年3月)	当2四半期 累計期間 (2009年9月)	増減
(資産)			
流動資産	4,709	4,488	▲ 221
現金及び預金	3,560	3,550	▲ 9
売掛金	1,006	711	▲ 294
その他流動資産	143	226	82
固定資産	401	402	1
有形固定資産	112	101	▲ 11
無形固定資産	75	92	17
投資その他	212	207	▲ 5
資産合計	5,111	4,890	▲ 220
(負債)			
流動負債	604	460	▲ 144
固定負債	4	4	0
負債合計	608	465	▲ 143
(純資産)			
資本金	780	786	5
資本剰余金	764	769	5
利益剰余金	2,956	2,870	▲ 86
純資産合計	4,502	4,425	▲ 76
負債純資産合計	5,111	4,890	▲ 220

<前事業年度末との比較>

資産の部：221百万円の減少

流動資産

・売掛金の減少： 294百万円

なお、第1四半期に実施した貸付金は、

第2四半期に回収済(2,000百万円)

※ 後述のキャッシュフローをご参照ください。

負債の部：143百万円の減少

流動負債の減少

- ・買掛金 98百万円の減少
- ・未払法人税等の支払いによる減少

41百万円

純資産の部：76百万円の減少

- ・四半期純損失による減少 35百万円
- ・配当支払いによる減少 51百万円

損益計算書 (サマリー 前年同期比)

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間 (2008年9月)	当第2四半期 累計期間 (2009年9月)	増 減	増減率
売上高	3,986	2,450	▲ 1,535	▲38.5%
売上原価	2,837	1,791	▲ 1,046	▲36.9%
売上総利益	1,149	659	▲ 489	▲42.6%
利益率	28.8%	26.9%	▲1.9pt	
販売費及び一般管理費	863	701	▲ 161	▲18.7%
販管費比率	21.7%	28.6%	▲6.9pt	
営業利益	285	▲ 42	▲ 327	-
利益率	7.2%	▲1.7%	▲8.9pt	
営業外収益	9	13	4	-
営業外費用	2	4	2	-
経常利益	292	▲ 33	▲ 325	-
利益率	7.3%	▲1.4%	▲8.7pt	
税引前当第2四半期純利益	292	▲ 33	▲ 325	-
法人税等、調整額	141	2	▲ 139	-
当第2四半期純利益	150	▲ 35	▲ 185	
利益率	3.8%	▲1.5%	▲5.3pt	

四半期キャッシュ・フロー計算書 (サマリー)

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期 累計期間	主な要因
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	101	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前当期純利益 ▲ 33百万円 ・売上債権の減少 294百万円 ・仕入債務の減少 ▲ 98百万円 ・法人税等の支払額 ▲ 77百万円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲66	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付金による支出 ▲ 2,000百万円 ・貸付金返済による収入 2,000百万円 ・有形固定資産の取得 ▲ 4百万円 ・無形固定資産の取得 ▲ 35百万円 ・敷金保証金の差入 ▲ 28百万円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲41	<ul style="list-style-type: none"> ・株式発行による収入 10百万円 ・配当支払い ▲ 50百万円
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	▲2	
V 現金及び現金同等物の増減額 (▲減少額)	▲9	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,560	
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,550	

業績の見通し

当第2四半期累計期間においては、期初の予想を上回る実績となりましたが、下期につきましては、経済環境など不透明な要因があり、現時点においては、2009年4月30日に公表いたしました通期の業績予想を据え置きます。

	2010年3月期見通し	
	第2四半期累計期間（実績）	通 期
売上高	2,450 百万円	5,500 百万円
営業利益	▲ 42 百万円	180 百万円
経常利益	▲ 33 百万円	180 百万円
当期純利益	▲ 35 百万円	95 百万円

1株当たりの配当金の状況および予定

(単位：円)	中間	期末	年間	年間配当総額
2006年3月期	-	1,500円	1,500円	36百万円
2007年3月期	-	2,500円	2,500円	60百万円
2008年3月期	-	3,500円	3,500円	89百万円
2009年3月期	1,500円	2,000円	3,500円	89百万円
2010年3月期 (見通し)	500円 (配当実施時期 2009年12月初旬)	1,000円 (予定)	1,500円 (予定)	38百万円 (予定)

当社ビジネスの現状について

2009年10月30日

株式会社ベリサーブ
代表取締役社長 浅井清孝

経済環境

足元：

新興国需要や政府の景気刺激策
で明るい兆し。

製品開発：

企業の景況感は依然として厳しい。

消費者(マーケット)：

価格に対する視点が違う(桁が違う)

製造メーカーにおける経営課題

コスト削減への対応

グローバル化への対応

単品→仕組み で販売
(システムで売る)

製造メーカーにおける
経営課題

コスト削減への
対応

グローバル化への
対応

単品→仕組み
で販売
(システムで売る)

営業強化

コスト削減

先行投資

当社における対応・事業方針

> 組織改革:

→ 権限委譲によるスピードUP

> 顧客のグローバル化への対応

→ グローバルへの対応

> フルライン検証 による

静的+動的検証サービスの融合による
検証サービスの効率化

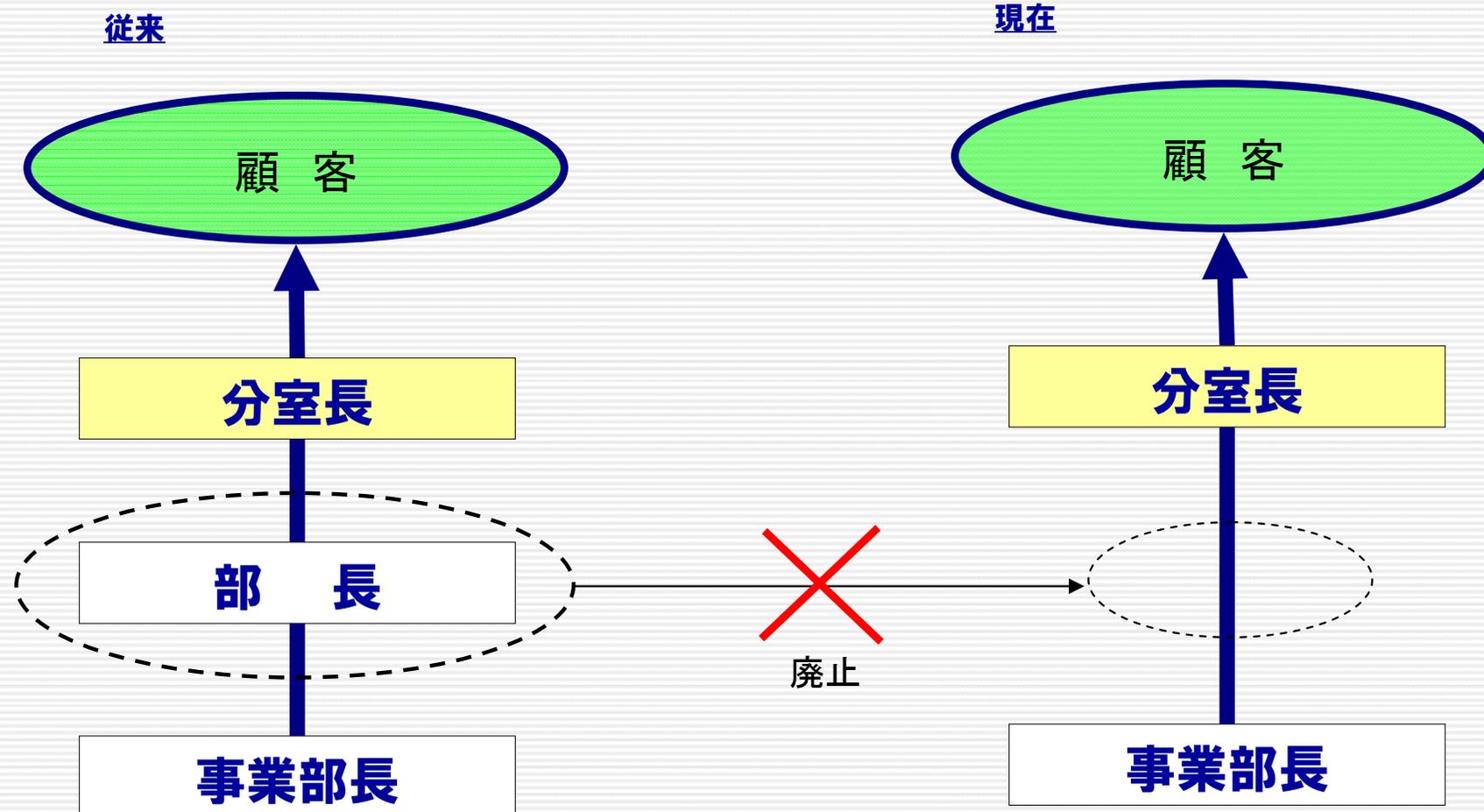
→ 成果が出始めた

> セキュリティ関係のビジネス

> 互換性のビジネス

既存顧客とのリレーション強化

現業部門の部長職を廃止し、事業部長直轄に、対顧客の窓口は分室長に

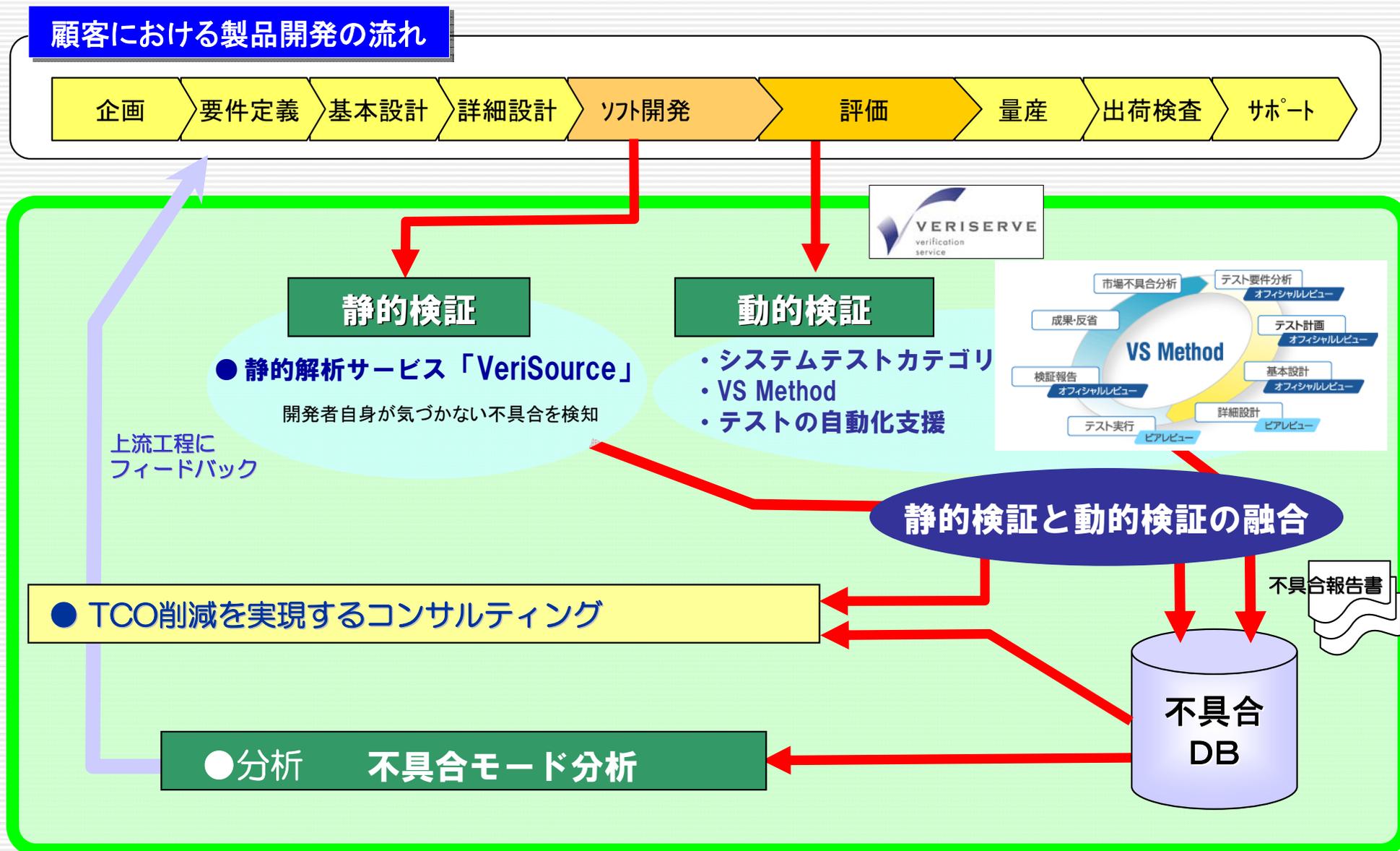


権限の委譲による意思決定の迅速化



フルライン検証サービスの推進

効率的な品質管理を行うために、各段階において総合的な検証サービスを提供。



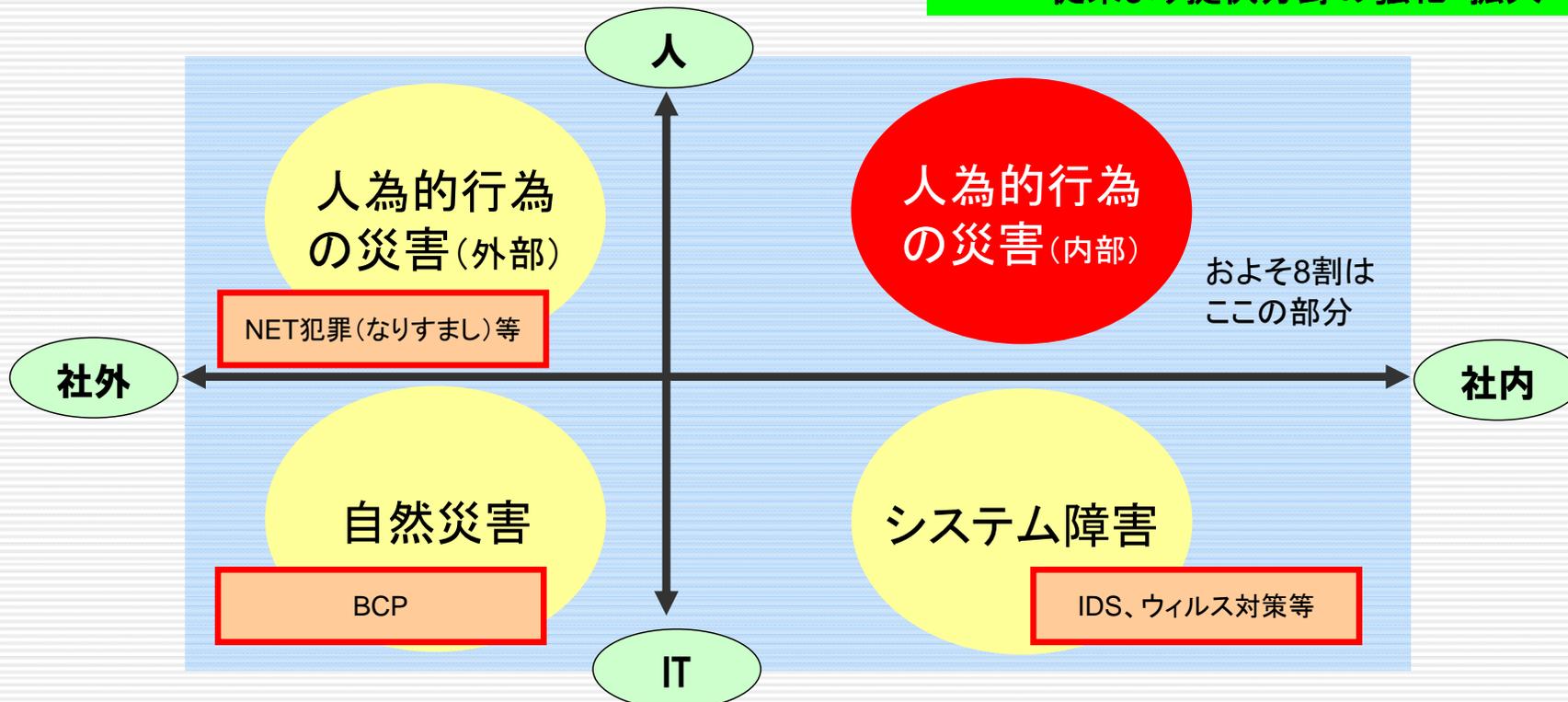
新規ビジネスへの取組み

負荷検証

脆弱性検証

しかしながら、セキュリティー分野の一部でサービスすべてを提供しているわけではない

従来より提供分野の強化・拡大

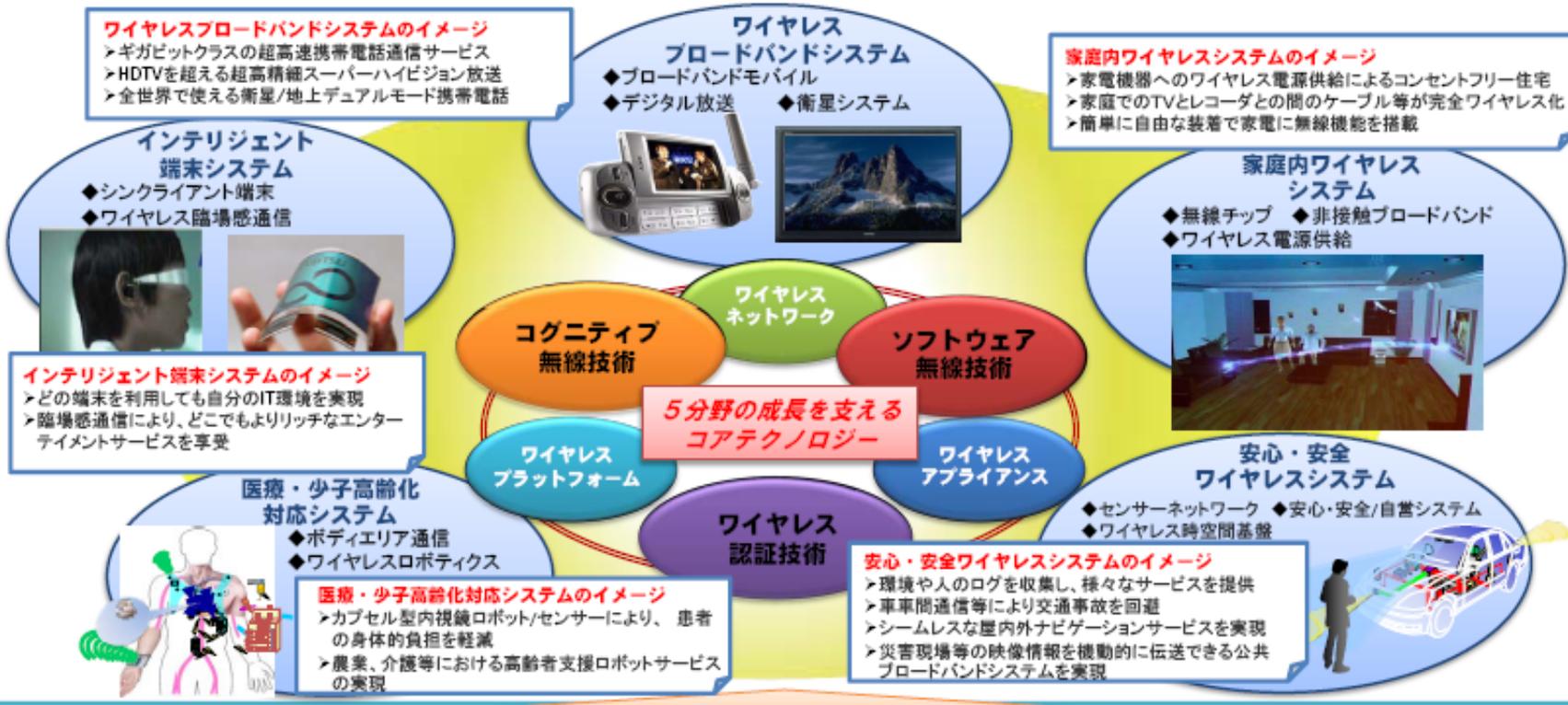


ITを活用した様々なサービスに『検証』は不可欠

今後、より快適な生活を実現するためには、いろいろな分野で検証は必要とされる

2010年代の電波利用システム・サービスの将来像

◆ワイヤレスブロードバンドに3つのフロンティアを加えたワイヤレスフロンティアにおける電波利用とこれを支えるコアテクノロジーの進展により、5つの電波利用システム・サービスが創出。



電波利用の進展

ニューブロードバンドフロンティア

ユビキタスフロンティア

グリーンフロンティア

ワイヤレスブロードバンド分野

出典：総務省：〈報道資料〉「電波政策懇談会」報告書（案）より

Appendix

Verification
Service

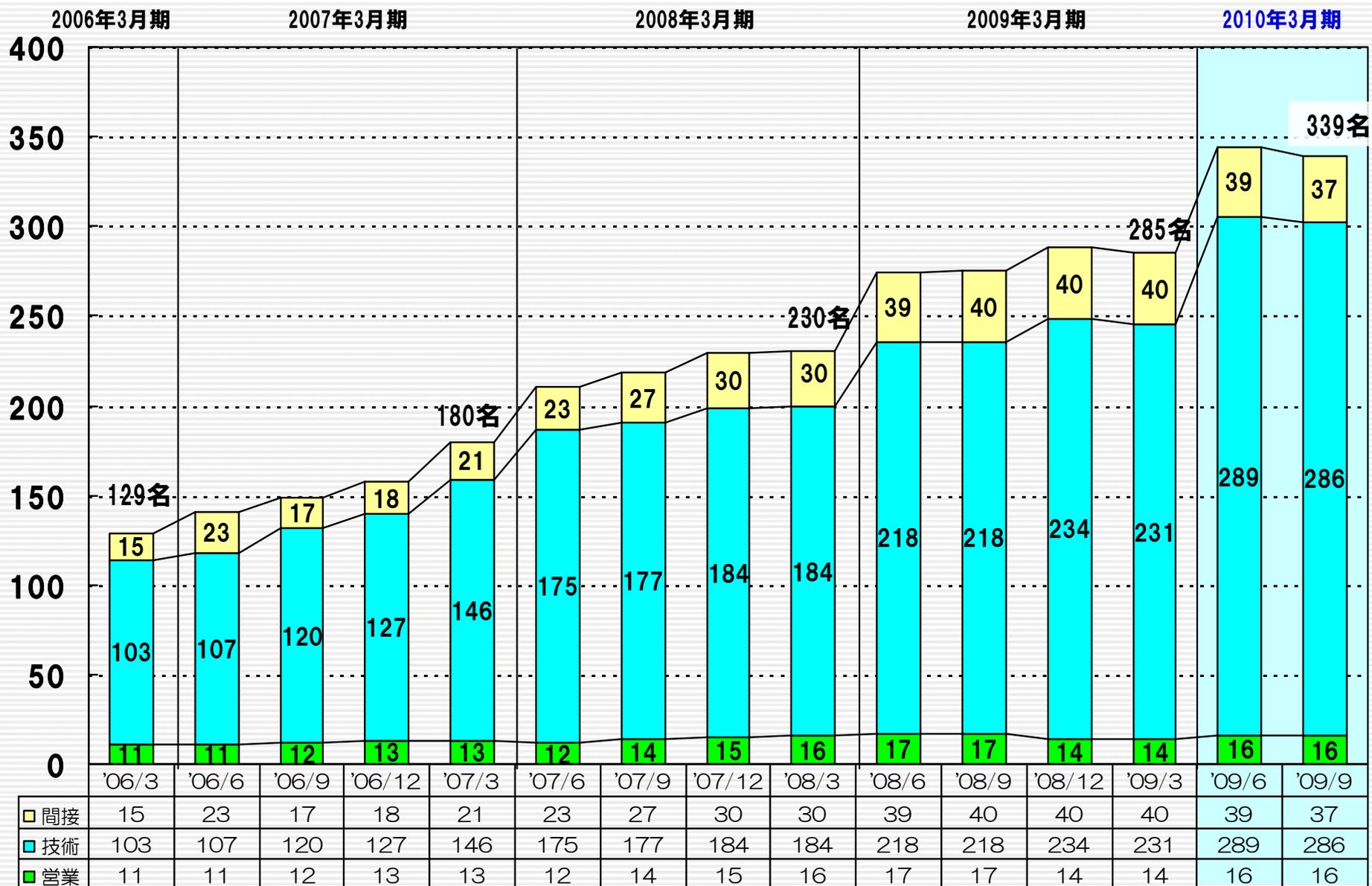
受注残の推移 (第2四半期末時点比較)

(単位：百万円)



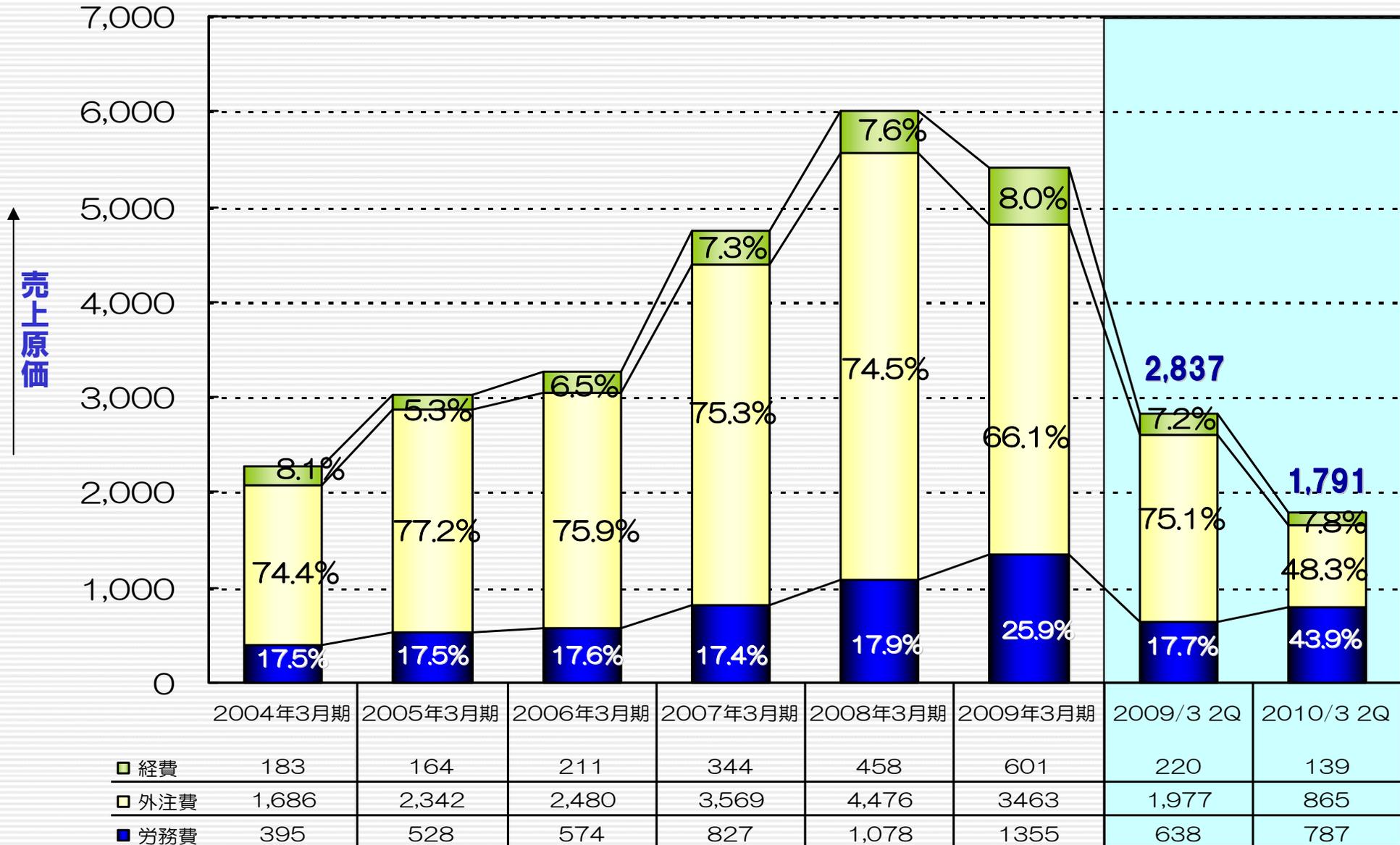
■ 製品検証サービス ■ セキュリティ検証サービス ■ その他サービス

社員数推移



売上原価増減分析 (半期/期別比率)

(単位:百万円)



%は、売上原価構成比

株式の状況（所有者別／所有数別）

第2四半期累計期間末の状況

発行済株式総数 25,789株

（前期末比 246株増 ストックオプション行使による増加）

所有者別

区分	株主数	構成比	所有株数	構成比
金融機関	21	0.86%	1,178	4.57%
証券会社	21	0.87%	149	0.58%
その他法人	28	1.16%	14,654	56.81%
外国法人等	13	0.54%	2,013	7.81%
個人株主	2,329	96.57%	7,795	30.23%
合計	2,412	100.0%	25,789	100.0%

所有数別

株数	人数	保有株数
5株未満	2,102	3,218
10株未満	178	1,068
50株未満	113	1,995
100株未満	10	585
500株未満	4	706
1,000株未満	2	1,050
1,000株以上	3	17,167
合計	2,412	25,789

2009年9月30日 現在

大株主 (2009年9月末日現在)

順位	株主名	保有株数	比率
1	株式会社CSKホールディングス	14,500	56.23%
2	メロン バンク エヌエー トリーテイククライアント オムニバス	1,588	6.16%
3	ベリサーブ従業員持株会	1,079	4.18%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	550	2.13%
5	浅井 清孝	500	1.94%
6	ビーエヌピー パリバ セキュリティーズサービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ	291	1.13%
7	岩崎 泰次	177	0.69%
8	加藤 一夫	130	0.50%
9	EFG BANK	108	0.42%
10	高橋 豊	80	0.31%

私たちの使命は、
市場に投入されるIT関連製品およびシステムの検証を通じて、
より快適なIT社会づくりに貢献することです。

<免責事項>

本資料は、当社の2010年3月期 第2四半期累計期間決算における業績状況に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よってその実現・達成を約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料のいかなる部分も電子的または、機械的な方法を問わず、無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。